

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじっこひろば		
○保護者評価実施期間	2025年7月11日		～ 2025年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2025年5月14日		～ 2025年5月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画書の作成方法について	・子どもに応じた計画を考え、計画に沿った支援が出来るよう に支援前にはミーティングを行い、全職員が共通の認識を持ち ながら支援を行っている。 ・個別支援計画書の見直し・更新時期には保護者と面談を実施 し、学校の様子や家庭での様子を聴き取り、様々な角度から目 標を立てている。	・半年に一度の個別支援計画書の見直し・更新時期だけでなく、 計画書の修正の必要性があると判断したタイミングでも 保護者との面談を実施し、目標と支援にズレがないようにし ていく。 ・非常勤職員にも計画検討会議の参加を積極的に促し、色々 な意見を計画書に取り入れていく。
2	・プログラムが固定化しないように配慮している	・週によってテーマを設定し、さらにテーマに沿ったプログラ ム内容を日ごとに設定している。 ・毎月、季節に沿った製作活動を交えて取り組んでいる。	・利用者がしたい活動に沿えないこともあるので、挑戦し てみたい、やってみたいと思えるような活動を考えられるよ うに職員間で支援内容検討会議を毎月実施したり、研修の機 会があれば積極的に参加していく。
3	・建屋にこども園、高齢者施設の事業所がある共生型の施設で ある	・季節によってイベント行事を設け、3事業所連携しながら利 用者同士が交流できる機会を設けている。 ・3事業所間で連携を図りながら、虐待防止委員会や感染症対 策委員会を行い、様々な分野からの意見を話し合うことが出来 ている。	・引き続き分野の異なる3事業所内で、イベント行事だけでな く日々の業務においても密に連携を図り、利用者および職員 間での自然な交流を深めていく。 ・共生型施設としての情報発信に注力し、一層 地域との関 係性を築いていくなかで、地域課題の把握および解決の一助 を担える事業運営を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所単体でのスペースが狭く、フロア内にて個室対応がで きない。	・建屋の特性上、共有スペースも多くにじっこひろばだけのス ペースでは狭く感じることがある。	・時間に応じてデイフロアを活用するなど、空間を分けて活動してい る。 ・様々な方が施設をご利用されているため皆様が安全に過ごしてい ただけるよう十分配慮し、建屋の職員全体で連携を取り合っている。 ・身体を動かすプログラム活動では公園へ出かけたり、買い物等屋外活 動を取り入れたりしながら、一人一人のスペースを十分に確保できるよ う努めている。
2	・地域交流・連携について	・賑やかな環境を苦手とする利用者もいるため、支援中に地域 の方との交流を図る機会を持ちにくい。	・建屋内に様々な世代の利用者が過ごされているため、利用 者間の交流を深めることで地域交流を深めている。 ・利用者のみならず、保護者や家族を含めた交流を行うこと でさらなる地域交流の機会を図る。
3	・災害時の訓練・マニュアル共有	・マニュアルの更新時に保護者に周知ができていない。 ・災害訓練時に出勤している職員の参加の為、出勤日数の少な いアルバイト職員等が参加できる事が少ない。	・更新のたびに保護者にお便り等を通して周知していく。 ・災害訓練時に参加できないアルバイト職員には、訓練の内 容を周知できるようにしていく。 ・火災訓練や防災訓練等、色々な非常時を想定した訓練を実 施していく。